

## 令和7年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 矢吹康浩

取組状況	
教育	<p>1. 問題演習の結果に応じて、要点・詳細などの学習内容を選択できる教材を開発・活用した。さらに、正誤別の参照傾向を把握することで学習行動を可視化し、基礎理解の定着に成果が見られた。</p> <p>2. 新規担当科目として確率統計の授業を一から構築し、基礎的概念を日常的な事象や応用上重要な話題と関連付けながら体系的に整理し、効果的に導入した。これにより学生の関心を喚起するとともに、概念理解の促進を図ることができた。</p> <p>3. 受験学年ではない4学年の学生に対しても進学指導(過去問添削)を行い、早期段階からの学力養成を支援する体制を整え、学習支援の対象を拡大した。</p>
研究	<p>1. リーマン多様体上の微分形式に作用するホッジラプラシアンの本質的自己共役性に関する研究を行い成果をまとめた。</p> <p>2. 数学答案作成に関する学生の意識調査および答案の収集・分析を実施した。加えて、提出課題に対する不足部分のフィードバックを行い、学習状況の把握と学習支援に向けた基盤を整備した。</p>
社会貢献	<p>1. 出前・受入れ授業「Excelでゲームをつくろう」提出</p> <p>2. 日本数学会、日本数学教育学会 会員</p>